

山形県感染症発生動向調査

令和7年第13週(令和7年3月24日～令和7年3月30日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <https://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2025年4月2日 発行



<定点把握感染症 週報>

疾病名	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	
インフルエンザ	9714	79	69	▼	48	27	▼	14	9	▼	11	8	▼	3	12	▲	3	13	▲	6149		
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	15872	120	138	▲	38	27	▼	32	37	▲	9	14	▲	17	29	▲	24	31	▲	2256		
小児科定点 (定点医療機関数)	3.23	3.00	3.45		4.22	3.00		4.00	4.63		2.25	3.50		2.43	4.14		2.00	2.58				
RSウイルス感染症	3663	21	26	▲	1	2	▲	7	7		1		▼	6	10	▲	6	7	▲	185		
咽頭結膜熱	802	11	7	▼	3	1	▼	3	1	▼		1	▲	4	4		1		▼	150		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6098	80	67	▼	15	7	▼	15	6	▼	4		▼	41	52	▲	5	2	▼	937		
感染性胃腸炎	28141	229	199	▼	60	39	▼	44	34	▼	16	14	▼	50	51	▲	59	61	▲	1633		
水痘	995	10	9	▼	5	2	▼	1	2	▲	1	1		2	4	▲	1		▼	98		
手足口病	133	4	6	▲	4	2	▼		3	▲		1	▲							157		
伝染性紅斑	2074	34	40	▲	11	14	▲	10	18	▲				9	8	▼	4		▼	355		
突発性発しん	545	7	6	▼	1	2	▲	1	1		1		▼	2	2		2	1	▼	84		
ヘルパンギーナ	20	2		▼										2		▼				5		
流行性耳下腺炎	101	1		▼							1		▼							10		
眼科定点 (定点医療機関数)	0.03	0.04									0.33		▼									
急性出血性結膜炎	56																			0		
流行性角結膜炎	579	1	2	▲							1	2	▲							81		
基幹定点 (定点医療機関数)	0.83	0.13	0.25								1.00	2.00										
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	96	2	2		2	2														11		
クラミジア肺炎	3																			0		
マイコプラズマ肺炎	129	4	2	▼							2	2					2		▼	85		
細菌性髄膜炎	8																			2		
無菌性髄膜炎	14																			0		

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症 週報>

疾病名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1					
レジオネラ症	1					
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	90日以内の海外渡航歴:無し
侵襲性肺炎球菌感染症	1				1	ワクチン接種歴:無し(2)
百日咳	4	3			1	第12週追加報告(1) ワクチン接種歴:4回(7)、3回(1)

<通信欄>

※トピックスで百日咳について掲載しています。
 ※インフルエンザ情報
 第13週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。
 ○迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
 A型:59件、B型:9件、不明:1件(定点医療機関からの報告)
 ○インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2024.9.2~2025.3.18)
 今シーズン(2024年36週~)の患者から、
 AH1pdm09が198件、AH3が7件、B型(ビクトリア系統)が10件検出されています。

警報・注意報の基準値

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPを ご覧ください。

<定点把握感染症 週報 年齢別報告数>

インフルエンザ/COVID-19定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ		1	1	2		8	3	8	8	4	10	8	6	2	69
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	1	2	1	4											
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
		3	6	4	3	1	2	2	4	3	2	10	12	10	138
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	11	12	15	13	17	8									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	5	8	5	3					1			1		26
咽頭結膜熱			4	1				2							7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	4	10	11	3	13	8	3	3	7		1	67
感染性胃腸炎		12	25	24	21	26	15	17	11	13	7	17	6	5	199
水痘							1	1			3	4			9
手足口病				1	1		1	1		1	1				6
伝染性紅斑			3	6	5	3	11	4		4	1	3			40
突発性発しん		2	4												6
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0

<トピックス>

百日咳

2024年の山形県における百日咳の報告数は222人で2018年以降最多の報告数でした。2025年に入り山形市保健所からの報告が続いていましたが、3月は村山保健所からの報告数が増加しました。



図1 百日咳月別報告数推移 (全国及び山形県過去7年間との比較、第13週現在)

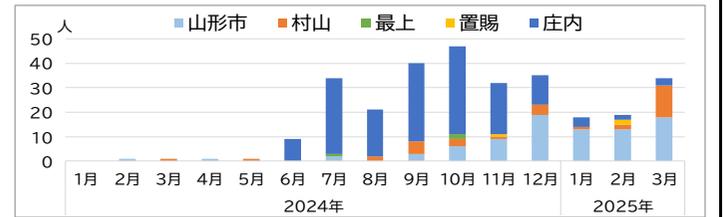


図2 百日咳保健所別報告数 (第13週現在)

<定点把握感染症 令和7年2月 月報>

2025年3月12日 発行

疾病名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
STD定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	4	12	1	2	3	9				1			16
	定点当たり報告数	0.40	1.20	0.50	1.00	1.50	4.50				0.50			
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	9	10	2	2	2	1		1	3	3	2	3	19
	定点当たり報告数	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50		1.00	1.50	1.50	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	1									2	1	3
	定点当たり報告数	0.20	0.10									0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	4	1	1		3	1							5
	定点当たり報告数	0.40	0.10	0.50		1.50	0.50							
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	11	4	4	2			1	1			6	1	15
	定点当たり報告数	1.10	0.40	2.00	1.00			1.00	1.00			2.00	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	11	8	1		1				1	2	8	6	19
	定点当たり報告数	1.10	0.80	0.50		0.50				0.50	1.00	2.67	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当たり報告数													

百日咳について

特有のけいれん性の発作(痙攣発作)を特徴とする急性気道感染症です。百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われていますが、ワクチン未接種者や接種後年数が経過し免疫が減衰した人での発病がみられています。

<感染経路と初期症状>

感染経路は飛沫感染及び接触感染です。通常5～10日間(最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

<治療と予防>

通常、患者からの菌排出は咳の開始から約3週間持続しますが、早期に適切な治療を開始することで服用開始5日後には菌はほぼ陰性になります。普段から「手指衛生」「咳エチケット」「換気」等の基本的な感染対策に努めましょう。



<詳しくはこちらへ>
国立感染症研究所HP

